

平成26年度採択案件一覧(補助終了)

■商工会議所関係

No.	事業名 グループ名	申請団体	事業内容・目標	主な成果	今後の取組予定
1	マイクロ・ナノバブルの利活用推進事業	神戸商工会議所	冷却、洗浄、腐食防止などの効果を有するマイクロ・ナノバブルの工業、農畜産業、医療分野での実証事例を増やし利活用を推進するとともに、バブル発生装置の開発・販売を目指す	冷却効果、洗浄効果や腐食防止効果など種々の機能性が認知されているマイクロ・ナノバブルの利活用推進に向け、11件の実証実験に着手し検証を進めている。また、他団体との連携等によって得られた知見から発生装置の試作品を作製し、実際の実証実験で使用している。	工業、農水畜産業、医療分野で活用し、企業現場の諸課題の解決を目指す。それにより県下を全国でも有数の利活用推進地域とする。
	マイクロ・ナノバブル利活用研究会				
2	商農工連携 商品・サービス開発事業		機能性・デザイン性に優れた食品を開発し、大手流通への販路開拓を目指す	・専門家からの助言や消費者目線での試食・意見交換を踏まえ、地元産の農作物を活用した新商品を開発し、27年3月にプレスリリースを実施 ①乾燥技術を用いた乾燥野菜②神戸産全粒粉に淡路産玉葱を練り込んだパン・ピザ生地③神戸米・神戸牛を使ったガーリックライス・おにぎり [H26年度で補助終了]	
	商農工連携 商品・サービス開発研究会				
3	灘の酒販路拡大事業	灘酒研究会	日本酒の製法や魅力を海外に向けて情報発信し、海外での販路拡大を目指す	日本酒に関する基礎知識全250語のネイティブチェックを行った。完成した日本語版及び英語版の用語集を灘酒研究会のWebサイト上に掲載した。また、ラジオ番組において用語集のPRを行い認知度を向上させた。	参画メンバーが要望した追加機能を加えてより見やすく便利なサイトにバージョンアップする 反響、効果を検証して改善を行いながら、PR効果を高めてアクセス数を増やすことにより灘の酒の販路拡大に繋げる。 輸出担当・広報部門にとってもより有効なツールとすることが可能であり、販促活動の効果も高める。
	灘酒研究会				
4	尼崎あんかけチャンポンPR促進事業	尼崎商工会議所	ご当地グルメの尼崎あんかけチャンポンの認知度向上を図るとともに、お持ち帰り用商品の販売促進及び夏季向け新商品の開発を目指す	スタンラリーを実施し、協力店舗の来客者増加のためPRした。 また各種イベントに参加し、お持ち帰り用尼崎あんかけチャンポンの販売を行い、店頭販売を含め年間で5,000個以上売り上げた。	全国のご当地ちゃんぽん団体を集め、参加者に食べ比べをしてもらう「ワールド・ちゃんぽん・クラッシュ」を開催したり、尼崎市だけでなく各地のイベントに出展し、全国的な知名度向上を目指す。
	チーム・尼崎あんかけチャンポン				
5	尼蒔(あまいも)ブランド確立へ向けた新製品開発計画	尼蒔の特産品開発協議会	尼蒔特産品「尼蒔(あまいも)」を素材にして開発した商品(蔓の佃煮)の販売促進や他の尼蒔加工食品と連携した販路開拓を行う	市内イベントへの出店を通じ、一般市民からの認知度が向上したほか、同様に「尼蒔」商品を展開する尼蒔小売酒販組合と連携し、組合加盟店との関係性の土台構築を行った。また、資料配布や講演による普及啓発、店頭設置POPによる広報を通じて認知度を向上させることができた。	市民参加の「尼蒔」収穫作業の実施や市制100周年記念学校給食への食材登用、地域イベント出展、商品販売することで幻の伝統野菜「尼蒔」の普及啓発を行う。
	尼蒔の特産品開発協議会				
6	商業活性化研究事業	西宮商工会議所	事業者が、異業種との交流・連携を通して魅力ある商品・サービスを開発するための仕組みづくりを研究し、その実践により販売促進を行う	市内で事業を行う有志が毎月ミーティングを行い、当プロジェクトで新ブランド「NISHINOMIYA+STORY」を立ち上げ、新ブランドのコンセプト、新商品を紹介する展示会を開催した。また、新コラボ商品も誕生し、各店舗、ネット通販で販売を開始するまでに至った。	事業者が集まり、多様なコラボを実現する新ブランド「NISHINOMIYA+STORY」の確立と魅力的なコラボ商品の開発、販売を目指す。
	西宮商業活性化研究会				
7	西宮洋菓子ブランド開発及びイベントの開催事業	西宮商工会議所	西宮洋菓子ブランドとしての共通商品を新たな食材を取り入れて開発し、共同でのブランド化及び販売促進を行う。 (「西宮スイーツ」として お土産に適した新商品を共同で開発)	・洋菓子店経営者とデザイン制作・広告業の専門家がともにイベントの企画段階から議論することを通して、商品コンセプトづくりやターゲットへのアプローチ方法の質を高めることができた。 ・販促イベントとして取り組んでいるキリスト教の祝祭「復活祭」にちなんだイースターイベントの定着に向け、卵をモチーフにしたオリジナルスイーツの商品試作を進めたところ、各種メディアや地域の情報誌等に取り上げられ、一部店舗ではイベント期間中の来客数が昨年の1.5倍に上った店舗も見られた。	西宮洋菓子ブランドの確立とブランド発信力の強化を目指す。
	西宮洋菓子研究会				

■商工会議所関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	主な成果	今後の取組予定
	グループ名				
8	宝塚新商品開発プロジェクト	宝塚商工会議所	今後開通予定の新名神高速道路「宝塚北サービスエリア」で販売する新商品(地元西谷産の農産物を使った洋菓子等)の開発を行う	今後開業予定の宝塚北サービスエリア向け新商品を制作するため、専門家の助言のもと開発に着手した。開発グループにより進捗に差はあるが、参加グループの多くがサービスエリア運営会社に対し商品プレゼンテーションが出来るようになった。 統一ブランド「宝塚 花の里・西谷」として商標登録	今回開発された新商品が多くの人目に触れる機会を増やす為、積極的に販路開拓を行う。
	2014食と農研究会				
9	宝塚名産販促・開発事業	宝塚商工会議所青年部	試作段階の飲料「宝塚すみれシャンメリー」をブラッシュアップし、地域の観光資源やイベントとの連携、WEB等を用いた全国への販路開拓を目指す	”0”から作り上げた「宝塚すみれシャンメリー」が市内外に「宝塚の特産品」として認知されつつあり、また、商品の販売体制整備にも目途が立った。	MEGA販路開拓市等により、引合のある事業所への販路開拓を事業承継会社にて実行に移す。
	宝塚商工会議所青年部				
10	明石産学官連携強化事業	明石商工会議所	産学官が交流し、新分野進出等に向けた研究を行うとともに、参加企業等の個別課題の解決を目指す	産業・学校・行政の連携による新産業進出や参加企業の課題解決等を目指し、講演会や先進事例から産官学連携の効果等を学ぶため視察研修会を行った。参加者の視野が広がり、明石での展開に示唆を得た。	交流会・研究会を開催するなど今後も継続して取り組む
	明石産学官連携事業連絡会				
11	「道の駅かこがわ」等による販路開拓・研究事業	加古川商工会議所	「道の駅」の開設について研究するとともに、連携による地元産品の新商品開発や販路開拓を目指す	・課題研究会や先進地視察を通して、「道の駅」をはじめとする実店舗の今後のあり方や、消費者ニーズを汲むネットショップの運営等について、異業種間で意見をもち寄り研究したことで、各参加企業が今後の新たな事業展開を探るきっかけができた。 [H26年度で補助終了]	引き続き同テーマで研究することにより参加者間での事業連携が期待できる。
	加古川商工会議所食品商業部会・一般商業部会				
12	キッチンツール開発プロジェクト	三木商工会議所	デザイナーと共同して、統一したブランド・コンセプトによるキッチンツールを開発し、販路開拓を目指す	月に一回の頻度で定例会議を行って行く中で、ブランドイメージとして「amenoma」(アメノマ)を立ち上げ、新商品開発を行い試作品を製作した。また、広報用パンフレットも作成し、全国規模の展示会にて試作品とともに出展し認知度を向上させた。	今までの事業を検証しながら、SNSなどを活用した情報収集、展示会でのヒアリングを行うなど反響を分析し、プロ・一般消費者それぞれに特化した商品開発と、新たな販路開拓等の販売促進に取り組んでいく。
	キッチンツール開発研究会				
13	異業種交流による播州織の新商品開発事業	西脇商工会議所	皮革や靴等の異業種の技術を取り入れることで播州織の新たな用途・商品を開発し、販路開拓を目指す	兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センターの指導のもと、構成員が有する技術を活用した播州織の新素材、新商品の開発に取り組み、国際フロンティア産業messe2015において試作品を展示した。	繊維工業技術支援センターの指導を受けながら新素材の用途・用途開発に取り組む
	播州織新商品・新素材開発グループ				
14	播州刃物海外展開事業	小野商工会議所	地場産品の鋏・鎌について、デザイナー等と連携して色・質感等の改良及びブランディングを行い、ヨーロッパ等の新たな市場への販路開拓を目指す	東京国際展示場で行われる「インテリア ライフスタイル」等への展示会出展により新規顧客及び販売金額が順調に推移している。ブランディングを行っている最中であるため、現在小売店へ直接販売しており、発注ロット数が少ないのが現状の課題である。	引き続きインテリア ライフスタイル(日本/東京国際展示場)やアンビエンテ/国際消費財見本市(ドイツ・フランクフルト)などの見本市・展示会へ出展するなど、今後もヨーロッパをメインのターゲットに海外展開し、「播州刃物/BANSHU HAMONO」として徹底したブランディングを行い、新規販路開拓の活動を継続する。
	播州刃物海外展開プロジェクトチーム				
15	粟生プライダル関連ビジネス創出事業	粟生プライダル関連ビジネス創出事業協議会	粟生駅を「恋人たちの聖地」としてブランディングを行い、カップル向けの新商品(スイーツ、陶器製品等)や新たなプライダル・サービス(列車ウェディング)の開発・販売を目指す	鉄道結婚式の受注を実現するため、平成27年度はモニターの募集を行い列車ウェディングを実施した。また、パンフレットデザインやイメージDVDの制作を行い、受注体制の整備も行った。	・鉄道結婚式パンフレットを制作し、本格的に鉄道結婚式受注を開始する。 ・恋人たちの聖地としての新商品の開発。
	粟生プライダル関連ビジネス創出事業協議会				
16	かさい農工商連携特産品開発推進事業	加西商工会議所	地元食材を使ったカレーのレシピを開発し、新たな加西名物として、飲食店での提供やレトルト商品化を目指す	有名店料理人の監修のもと加西香煎咖喱を3,000食製作したところ、全て完売した。贈答品及び土産品として定着しつつあり、販売者への購入意欲を向上させることができた。市内飲食店において加西産農産物を使ったカレーのメニュー化を促進するため加西産農産物を使ったカレー店を巡るスタンプラリーを実施。	咖喱の改良やスタンプラリーの実施
	かさいまちおこし研究会				

■商工会議所関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	主な成果	今後の取組予定
	グループ名				
17	伴走型異業種交流会	姫路商工会議所	異業種の企業が交流し、新たなビジネスを生み出す場を創出して、新商品・新サービスの開発シーズを探り、共同での新商品開発等を目指す	皮革企業がもつ革の加工技術と印刷・パッケージ企業がもつ印刷技術の融合について話し合いを継続している。また、新規顧客獲得に向けFacebookページを開発し、新商品PR等を行っている。さらに、構成員が展示会に参加し、複数の企業から商談見込を得た。	講演会・交流会等の実施(今後内容調整) 2部構成で実施。第1部では、異業種マッチングに関連したテーマで講演会を実施する。また、実際にコラボレーションした異業種企業を招へいし、事例紹介をおこなう。 第2部では、自社PR・交流会(名刺交換等)・商品展示を実施する。
	異業種マッチンググループ				
18	皮革製造業の川下産業進出プロジェクト	姫路商工会議所	皮革の製造だけでなく、デザイナー等との連携により最終製品の開発に取り組み、小売業進出のためのパートナー探しを行い、販路開拓を目指す	製品開発において、特殊機能を持つ皮革鞣し方法の開発、機能についての知的財産権の保全、機能の評価方法、機能を活かせる市場の選定、試作品の開発、共同開発者の選定まで行うことができたが、本格的な機能評価を行う前段階で、特性の立証を行うことができなかったため、当事業における開発は断念した。	価格決定権をもつことを目標に、製品の開発・販路開拓の支援に取り組む。
	皮革製造業川下産業進出プロジェクトチーム				
19	ふかしのメロンブランド化推進事業	姫路商工会議所	地場農産物「ふかしのメロン」を加工し、長期保存可能な商品の開発、ブランド化及び販売を目指す	賞味期限の短さを逆手にとり、ケーキ、パンといった賞味期限の短い商品を開発し、展示会出品、店舗販売まで漕ぎつけた。また、新聞、テレビ、ラジオといったマスコミにも取り上げられ、知名度の向上にもつながった。	ふかしのメロンについて安定供給のための生産体制確立とイベントの出展、販売ルートの開発等を通じた認知度向上に取り組む。 関連商品の更なる開発及び既存商品の改良を行うとともに新たな関連商品の開発業者を開拓。
	ふかしのメロンブランド化推進グループ				
20	龍野地域「SNS連携共同購入型クーポンシステム」研究会	龍野商工会議所	共同購入型クーポンと地域SNSの連動による龍野地域独自のサイトを立ち上げ、異業種連携による販路拡大を目指す	共同購入型クーポンサイト運用に向け、ワーキングやセミナーを開きサイトの仕組みや商品データの作り方を学び、ページデザインやシステム機能の改良を行った。より便利で使いやすいサイト構築に向け28年度には決済機能を修正中。完成次第稼働する。	共同購入クーポンサイトを本格稼働させ、随時出店者を募集
	龍野商工会議所「SNS連携共同購入型クーポンシステム」研究会				
21	「赤穂まちの駅」設立のための調査研究事業	赤穂商工会議所	民間主導で運営する「赤穂まちの駅」の設立を調査研究し、地域情報の発信、交流・連携、販路開拓を目指す	市の市場規模、交通量から売上げ予測した結果、「道の駅」設立が適切であるとの結論に至った経緯から、平成27年度は、行政も含めた勉強会、近隣の道の駅視察、駅長との意見交換を行った。駅設立の可能性については、運営形態の構築や参加メンバーの選定、資金計画等、行政と連携し更なる研究が必要となる。	店舗イメージ、資金計画から構成団体実現に向けての販売品目の検討など道の駅設立の可能性について研究を進める。
	あこうプラザ21				
22	異業種交流・連携による多角的開拓事業	三田市商工会	異業種企業がノウハウを持ち寄って意見交換・調査研究を行い、連携による新分野進出、新商品開発等への展開を目指す	事業を通じてメンバー間の親交が深まった。また、講演会や視察研修を通して地域活性化のために若い創業者を増やすべく、創業支援事業に取り組むことを決定した。	起業しやすい街づくりを目指すため創業支援事業に取り組む。 また、商工会館の有効活用も含め、インキュベーション施設の開設を検討する。
	三田GOOD MEN'S CLUB				
23	猪名川町の地域資源を使った新規事業についての調査・研究事業	猪名川町商工会	猪名川町の資源である森林を活かした交流人口の拡大及び地域外資金の獲得につながる自然体験、レストラン等、森林アクティビティに関する新事業の調査・研究を行う。	一年目に検討した森林を活用した様々な新規事業の中から実現可能性があり、かつ収益性も見込める2事業(マウンテンバイク事業とフィールドアスレチック事業)に絞り込む等、交流・連携の中で地域活性化につながる新しい事業を行う土壌ができた。	新規事業の説明と事業予定地に関する利用について町と調整し新規事業開始に向けて取り組む
	猪名川町地域資源活性化研究会				
23	猪名川町の地域資源を使った新規事業についての調査・研究事業	猪名川町商工会	猪名川町の資源である森林を活かした交流人口の拡大及び地域外資金の獲得につながる自然体験、レストラン等、森林アクティビティに関する新事業の調査・研究を行う。	一年目に検討した森林を活用した様々な新規事業の中から実現可能性があり、かつ収益性も見込める2事業(マウンテンバイク事業とフィールドアスレチック事業)に絞り込む等、交流・連携の中で地域活性化につながる新しい事業を行う土壌ができた。	新規事業の説明と事業予定地に関する利用について町と調整し新規事業開始に向けて取り組む
	猪名川町地域資源活性化研究会				
24	人的交流による事業連携	加東市商工会	若手経営者、後継者の人的交流・情報交換を通して、新たな事業連携の可能性を広げ、新分野進出等を目指す	交流する中で、実際に取引に発展したケースやものづくり補助金の採択を受けた他事業所の設備を受注納品したケースが出た。また商工会地域を越えても交流を行い商談が進んだ企業もあり一定の成果が出た。	加東市内、県内、県外の経営者との異業種交流活動による事業連携とビジネスパートナーの発掘に取り組む。
	加東市異業種交流会				

■商工会関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	主な成果	今後の取組予定
	グループ名				
25	北播磨の名水を活かした商品開発と異業種交流による地域活性化	多可町商工会	平成の名水百選に選定された「松か井の水」を活用し、名水の効能や歴史・文化・伝承ストーリー等の付加価値を加えた商品の開発・販売を目指す	水源6地点を検査、商品化においては殺菌工程等がある為問題が無いことを確認。原水確保の問題があるが、ペットボトルやラベルを依頼する業者も確保できるところまで至った。	商品開発・販路等の調査に取り組みビジネス化を目指す。
	多可町商工会異業種交流グループ				
26	かみかわブランド創出事業	神河町商工会	異業種の企業等が新商品開発等を目指して交流を実施し、「かみかわブランド」の創出を目指す	地域コミュニティの取組みとして3つのビジネスモデルを検討した結果シニアビジネスに取り組むことになった。3月中旬に「買物コミュニティ形成支援バス」をテスト運行することができた。	高齢者等を中心とした生活支援サービス構築に向けて具体的な事業内容の検討を行う。
	神河町経営者協会				
27	ブランド向上・販促研究会	福崎町商工会	自社商品・サービスのレベルアップ及び事業者間の連携資源の掘り起しを行い、連携による新商品開発、新分野進出等を目指す	もちむぎ商品の主な原料となっているもちむぎ粉の成分分析を行い、もち麦のパフ化した素材を検討したが商品化は難しい事が分かった。もちむぎ産地振興協議会で「機能性表示食品」への申請をする方向となった。また、柳田國男の著書と関連する「ヤマモモ」で菓子の試作をした。	もちむぎの機能性表示食品申請に取り組む。
	福崎町商工会名品研究会				
28	木材の品質管理高度化支援事業	宍粟市商工会	建築木材の強度を簡易かつ高い精度で測定できるシステムを活用し、低価格木材強度計としての商品開発を行う	異業種関係者がそれぞれの立場で共通認識に立ち現状を認識し役割を分担することにより、パソコン上のワンクリックで木材の重量測定木口面打撃音取得、ヤング係数測定等の結果を一覧するまでを自動化した。測定精度も高く、平成28年3月31日に(一社)全国木材検査・研究開発協会から認定を受けた。	今後汎用性が高く安価で工場に備え付けられる測定器の開発に取り組むとともに地元木材の販路拡大を目指す。
	簡易木材強度計開発グループ				
29	異業種交流における課題解決及び新製品・商品開発事業	上郡町商工会	個々の企業単独では取り組みにくい課題や目標を設定し、それぞれの技術やノウハウを生かした新しい製品やサービスの開発を目指す	先進企業視察、セミナー及び業種間の交流を通じて、自社の課題への解決法や先進事例の活用法等考える機会ができた。また、各企業が抱える問題と解決方法の糸口を見出した。	企業間交流と情報交換・販路開拓セミナー等の開催
	上郡町商工会法人部会				
30	地域経済再生に向けた仕組みづくり事業	豊岡市商工会	個々の参加企業のレベルアップや横断的なネットワークの構築を図るセミナー・交流会を開催し、新分野進出、販路開拓等を目指す	本事業により旧町毎に捕らわれることなく議論の輪が広がり他部会と一体となった事業の可能性について検討できた。更に官民交流を通じて勉強会を行い地域一体となった事業検討の基盤ができた。	業種を問わない資質向上の勉強会や人材育成を検討する。
	豊岡市商工会工業部会				
31	異業種交流グループ販路拡大事業	養父市商工会	参加企業の連携による営業力・販売力の強化を図り、展示会出展等を通じた販路の拡大を目指す	工業グループでは、自社製品を展示会出展し高い技術力をアピールできた。また、建築グループではこれまでに培った企業間ネットワークを連携体としてどう活かすかまで検討、共同販促に向けての意識が向上、販促媒体の作成も行い市場へ投入する準備ができた。	販路開拓に取り組む ・工業グループ 自社技術を最大限に見せる為の手法を模索、連携強化による新たな出展会等への参加。 ・建築グループ 異業種連携広報媒体を活用した営業の強化
	養父市商工会交流グループ				
32	マーケット・インを意識した「丹波一ガータレ」の販路開拓	篠山市商工会	H25年度に開発した「丹波一ガータレ(ご当地バーガー)のたれ」について、地域の小売店・飲食店やイベントとの連携及び各種メディアを活用した販売戦略により、販売拡大や新商品の開発を目指す	モニタリング試食会においてアンケート調査をした結果、「丹波一ガータレ」の味をかえる必要が無いことがわかった。味の均一化を行い主婦の活用方法を参考に小売店や飲食店への販路開拓に取り掛かる事になった。	モニタリング以後にも、イベント以外でも丹波一ガータレを食べたいとの問い合わせも多く、常時販売できる委託先を検討する。また委託販売規定を作成し、地域貢献にも役立てる。
	新しい篠山(ちいき)の味創造委員会				
33	工業部会異業種促進事業	丹波市商工会	参加者間の交流を深め、各企業が抱える課題について、異業種ならではの観点から企業連携や販路開拓等の具体的な解決を目指す	ビジネスマッチング交流会では商品やパンフレットを持ち寄り自社の抱える問題点等を発表し、専門家によるアドバイスを受ける等、マッチングに向けて相互理解を深めることができた。その中で製造業者が小口対応することにより近隣業者との新たな取引の可能性が出てきた。	事業所間の取引の促進 新商品開発や既存事業の課題解決に向け相互協力体制を構築する。
	丹波市商工会工業部会				
34	こだわり農業の魅力、土壌改良開発連携事業	五色町商工会	畜産農家から出る糞尿をたい肥として地域内の田畑の土壌改良に循環させる仕組みを構築し、たい肥を商品化するとともに、島内外への情報発信等による農産物のブランド化を目指す	当初目標の土壌改良剤の開発は困難となったが、専門家の指導を受け、有機栽培にこだわった農産物加工品(レトルトパックのオニオンスープ・カレー等)の開発及びそれに伴うロゴ・パッケージを作成した。	展示会・商談会に参加し新商品の販路開拓を行うとともにコンセプトを貫いた新たな商品開発に取り組む
	五色町異業種交流グループ				

■商工会関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	主な成果	今後の取組予定
	グループ名				
35	淡路島「御食国ブランド」の構築	南あわじ市商工会	食・観光に関係する事業者や大学が連携した商品を開発し、淡路島「御食国ブランド」の確立及び販路開拓等を目指す	4つのテーマ(グルメ、島のウリ、観光、仕事)で交流会を開催し、色々なアイデアを出し合った。その参加企業の交流から観光施設と飲食業者間の割引カードの発行や飲食業者と菓子製造業者が連携し新商品の開発販売する等の取組が生まれた。	継続的な勉強会等の開催や新商品の開発、展示会への合同出展や商談会等参加により販路開拓に取り組む。
	南あわじ市商工会異業種交流推進協議会				

■兵庫工業会関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	主な成果	今後の取組予定
	グループ名				
36	地域企業連携による「ものづくり力」強化事業	兵庫工業会	現場レベルの連携による在庫圧縮・リードタイム短縮などの生産現場の問題解決や相互の技術と強みを活かした新事業展開を目指す	各社各員が同じ現場を見、質疑応答・感じたこと・総評などを発表することで、改善時における現場の見方(ノウハウ)を得ることができた。	各社改善発表会を実施し、活動を通して得たものをどのように自社へフィードバックできたか(自社改善の事例)を発表する。
	生産技術ボトムアップ研究会				
37	ものづくり企業経営者間水平連携検討事業	兵庫工業会	企業経営者が互いの現場を訪問して問題提起を行い、その解決策を各参加者の「技術」「製品」等により提案する中で、連携による新分野進出等を目指す	溶接機器メーカーの電気溶接機器製造技術を生かして、熱処理メーカーが利用・販売網を持つ小型熱電対溶接機を開発した。H28年度には納入・販売(年産20~30台見込)	開発品をネーミングの上、販路に乗せ販売実績を上げる。
	くすのき会 分科会				

■兵庫県工業技術振興協議会関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	主な成果	今後の取組予定
	グループ名				
38	NSK新規ビジネス開拓	兵庫工業技術振興協議会	ジェスチャー等で入力できる次世代入力支援装置のニーズ調査を高年齢施設やスポーツ施設等を対象に実施し、「売れる商品」の開発プラン構築を行う	事業目標である高齢者等のガイドシステムの構築について検討を重ねた結果、当初導入を予定していたロボット型よりも簡易な移動体の利用に方向を変更し、その有力手段の一つであるドローンの技術や市場性を調査した。また、ドローンの浮上位置を自動抑制するプログラム開発に着手した。	災害時の充電機能を持つIoT収納ベンチや小型移動体による高齢者ガイドシステム等公共施設等における高齢者サポート・災害避難時の要支援者サポートの開発、製造を目指す。
	NSKビジネス検討会				
40	加圧プロセスによる高品質アルミ合金鋳物の製造	兵庫工業技術振興協議会	高品位の複雑形状・薄肉アルミ合金鋳物の製造技術を確立するとともに、各種メディアとの連携を通じた情報発信に取り組む、自動車・バイクエンジン部品としての供給を目指す	金属製品製造技術を持つ企業、試作加工を得意とする企業、鋳造資材を扱う企業等が連携し、工業技術センターの支援を受けながら、アルミ合金を用いてオートバイのクランクの試作(加圧鋳造)を重ねた結果、均一な肉厚のものであれば、欠陥の少ない高品質な鋳物を鋳造できるようになった。	これまでの結果を踏まえ、改良を加えた加圧ボックスを作製し、加圧鋳造実験を実施する予定で、複雑形状の高品質アルミ合金鋳物を実現する加圧プロセス法の開発に取り組む
	鋳造魂				
41	新規取得微生物を用いたオール播磨ブランドの構築	兵庫工業技術振興協議会	風土記ゆかりの神社で採取した新規酵母を用いて新酒を開発するとともに、ストーリー性やデザインの要素を付加したブランド化戦略及び小売、飲料業界との連携による販路開拓を行う	播磨地域で採取した酵母・麹菌を使った「庭酒」の製造に酒造業、小売業、種麹製造業者等が連携して取り組むとともに、7月開催のミラノ万博や10月の「日本酒で乾杯」等多くのイベントに庭酒を出展し、PRを行った。	遺伝子解析等検査、実験を依頼し新麹・酵母菌の確立に取り組む
	播磨広域連携 オール播磨ブランド創成グループ				